

1-7 「山の日」を象徴する物品について

1 趣旨

国民の祝日「山の日」の制定趣旨の浸透・定着を図り、将来にわたり継承していくことを目的に、「山の日」を象徴する物品を制作し、「山の日」に開催される全国大会で掲示し次期開催地に引き継いでいく。

2 物品の種類及び名称 帽子 「山の日帽」

3 物品所有者 環境省

4 選定理由

帽子は、登山はもとより山仕事等にも不可欠な物であり、特に登山においては、登山用の帽子の開発の歴史は古く、健康的に登山を行う上での重要な物である。

「山の日」を象徴する物品として採用要件は以下の観点とした。

- ① 国内外共通で、山と関連した物品の一つとして想起しやすいもの
- ② 各地をリレーしていく上で簡易なものであること
- ③ 日常的に使用することが可能なもので、国民への広がりや汎用性に富むもの

5 製造元 アトリエ・アニェリカ(黒岩裕美子さん) 長野市

6 管理等

山の日帽は、所有者である環境省から(一財)全国山の日協議会に管理を委託し、各開催地に貸与する。

7 記録写真



左上：信州四方山祭りオープニングセレモニーにて「戴冠式」(左から小林環境事務次官、菅谷会長(松本市長)、磯野(一財)全国山の日協議会理事長、飯塚さん(みどりの女神))
右上：記念式典(上高地)にて皇太子殿下の傍らに
左下：祝祭式典(市民芸術館)にて演台に(阿部長野県知事)
右下：祝祭式典にて次期開催地へ引継(左から菅谷会長、金田環境林務部長)



1-8 「信州^{よもやま}四方山祭り in 松本城」について

1 趣 旨

- (1) 今大会の理念に掲げる山の日制定趣旨を広く浸透・定着を図っていくために、山と共に生きる私たち信州人として、国内外から長野県松本市に訪れる皆様に、信州の山の魅力や価値を、日常的な目線でわかりやすく伝えていくことを目的に、音楽や講演、ワークショップなど様々なプログラムを活用し記念行事を開催する。
- (2) 2日間の大会の幕開けを告げるオープニングセレモニーを行うとともに、環境省から実行委員会へ「山の日帽」の戴冠式を行った。

2 日時及び場所

日時：平成28年8月10日(水)午前10時から午後4時30分まで
平成28年8月11日(木)午前9時から午後4時30分まで
場所：松本城公園特設ステージ・二の丸御殿跡広場

3 参加者人数

約8,100名(市民、観光客等)

4 行事概要

(1) ステージイベント

【平成28年8月10日】

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| 10:00 ~ 10:40 | オープニングセレモニー |
| 10:40 ~ | スイカのふるまい(松本特産波田スイカ振る舞い) |
| 10:45 ~ 11:15 | 信州ゆるキャラ プチサミット in 松本城 |
| 11:20 ~ 11:50 | 岡部和典トークショー「水のものがたり」 |
| 12:00 ~ 12:15 | アルプホルン演奏(松本アルプホルンクラブ) |
| 12:15 ~ 13:00 | 山の音楽祭(三上容実/vocal & 高見澤一樹/guitar) |
| 13:15 ~ 14:00 | 山の音楽祭(葦木啓夏) |
| 14:15 ~ 15:00 | よもやま抽選会 |
| 15:30 ~ 16:30 | 山の音楽祭(さい&かずう) |

【平成28年8月11日】

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 9:00 ~ 10:30 | 上高地パブリックビューイング |
| 10:30 ~ 11:30 | 信州ゆるキャラ® プチサミット in 松本城 |
| 11:30 ~ 12:00 | 花谷泰広トークショー「山の楽しみ方」 |
| 12:00 ~ 12:30 | 書道パフォーマンス(松本蟻ヶ崎高校書道部) |
| 13:00 ~ 13:30 | 山の音楽祭(走 裕介) |
| 13:30 ~ 14:30 | ゆるキャラ® グランプリ 2016 エントリーキャラ大集合!! |
| 14:30 ~ 15:00 | よもやま抽選会 |
| 15:30 ~ 16:30 | 山の音楽祭(ハーモ♥デュエ) |
| 16:30 ~ | 閉会式 |

(2) ワークショップ

ボルタリング、シュラフ早入れ競争、ビーコンで宝探し、細引きで作ろうブレスレット、箸作り、ヒノキの携帯升焼き印、ロボ木一作り、キッズスペース（森のテントハウス、ヒノキ玉のプール）、キャンプで役に立つ斧とナイフの使い方、木のプレートに絵を描こう、スタンプラリー

5 記録写真



オープニングセレモニー



山の日帽戴冠式 記念切手・貨幣セット贈呈式



信州ゆるキャラ®プチサミット in 松本城



スイカのふるまい



レンジャーの選ぶ「8種の生きものと11名山」環境省



感じよう、山の恵み、森の恵み「林野庁」



降雨体験 国土交通省



キャンプで役に立つ斧とナイフの使い方

1-9 「山の日」制定記念国際フォーラムの開催について

- International Forum for Mountain Day -

1 趣 旨

- 「山の日」の制定を記念し、大会理念を具現化するとともに、世界で初めて「山」を対象とした祝日の誕生を機に日本の「山」の魅力・価値等を国内外に向けて発信
- 「山」に関係の深い各国大使等及び我が国の関係者が集い、子供や老若男女、外国人、障がい者等、誰もが山に親しむ機会を得て山の恩恵に触れることができる山岳ツーリズムのあり方について意見交換

2 日時及び場所

日時：平成28年8月10日(水)午後0時30分から午後2時まで

場所：あがたの森文化会館（長野県松本市県3-1-1）

3 参加者人数

130名

（各国大使館関係者、海外姉妹都市、国機関、山岳ユニバーサルツーリズムに取り組む団体の関係者、公募で集まった県内の学生や市民、一般傍聴者）

取材に訪れた報道機関：新聞10社、テレビ2局、出版関係3社

4 行事概要

◆司会：工藤夕貴さん、萩原浩司さん(山と溪谷編集長)

◆基調講演「山岳ツーリズムを目指す時代に」

秋山 哲男 さん（中央大学教授、日本福祉のまちづくり学会 会長）

◆事例報告

- ・中岡亜希さん・・・・・・・・・・（ASSYstars Project 実行委員長）
- ・グレッグ・マルハーンさん・・・・（英国大使館 政治部参事官）
- ・アロン・ゴールドさん・・・・・・（米国大使館 経済部経済担当二等書記官）
- ・ブルーノ・ハウスヴィルトさん・（スイス・グリンデルワルト観光局局長）
- ・中島恵理・・・・・・・・・・・・・・（長野県副知事）

◆ 意見交換及びまとめ

5 山岳ユニバーサルツーリズムに向けての主な意見

- ・バリアフリーなどの施策に加え、受け入れる側の「おもてなし」サポートや、山を楽しんでいただける器具や技術の導入など、ニーズに沿った環境整備が不可欠
- ・会場からは、「誰でも山に登れることは大切だが、山を聖地と崇め、不可侵のものと捉える日本古来の文化について学ぶことも同時に重要なのではないか」との発言

7 記録写真



案内看板



参加国の国旗



会場：あがたの森文化会館



挨拶 環境省 小林環境事務次官



基調講演 中央大学 秋山教授



事例報告



事例報告



傍聴者全景



報告書

1-10 歓迎レセプションの開催について

1 趣 旨

山の日制定を共に祝い上高地記念式典への招待者の懇親を深めるため、レセプションを開催し、山の国信州・岳都松本ならではの「山の恵み」を振る舞い、山の歴史と文化を実感していただく演出を行った。

2 日時及び場所

(1)日時 平成28年8月10日(水)午後3時30分から午後4時30分

(2)場所 ホテルブエナビスタ 3階グランデ

3 参加人数

皇太子殿下、環境大臣、県議会議長、市議会議長、知事、市長 他 総勢130名

4 概 要

(1)提供食材

乾杯酒：地元 JA 提供のすいかと県内ワイナリー製造のスパークリングワインを使った「すいかのカクテル」

食 事：地元野菜のサラダやシカ肉の煮込みなどの地域で採れた食材を使った料理のほか、信州蕎麦や信州サーモンなどの信州ならではの食材、山ぶどう葉寿司や番所きゅうりの漬物などの地元の伝統食などを提供。

— お品書き —	
洋食	地物野菜のカラフルサラダ、鴨とモッツアレラとトマトのマリネ、蒸し鶏のパリパリサラダ仕立て、ハヤシソースドリア、福味鶏のプレス夏野菜トマト煮、信州ポークバラ肉のハニーマスタードドラケ、信州ポークロース低温ロティ、鹿肉ロースのハーブコンフィ、フルーツ盛り合わせ、プチケーキ、デミコーヒー
和食	塩丸烏賊と信州夏野菜の和え物、信州福味鶏照り焼きと信州サーモン黄味酒盗焼き、信州サーモン・活メ鯛・信州産信濃鱒・信州産大岩魚・黄肌鮪・甘海老・烏賊焼き霜造り、豚柳川風、信州蕎麦、信州きこの天婦羅、鹿モモ肉煮込み
持込	山ぶどう葉寿司、番所きゅうりの漬物
	※下線は、参列者各卓に配置。

飲み物：地ビール（松本ブルワリー5種類）、ワイン（城戸ワイナリー、安曇野池田ヴィンヤード、ファンキー・シャトーなど13種類）、日本酒（県酒造組合提供49種類）ほか

(2)会場演出

ア ヴィオラ・ダ・ガンバ生演奏

皇太子殿下ご入場・ご退出時及び参列者同士の歓談時に、プロ奏者の品川聖氏によるヴィオラ・ダ・ガンバのソロ演奏を披露いただいた。ガンバは16世紀から18世紀にヨーロッパの宮廷で愛好された歴史の古い擦弦楽器で、華やかで優しい雰囲気を出した。

イ 装飾関係

山の恵みである「ツキ板」(協賛物品)を素材とした、受付や卓上サイン、ランチョンマット等を随所で活用し、(1)の食材とあわせて山の恵みを頂くという統一したテーマを持たせた。

(3) 歓迎あいさつ要旨(第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 菅谷昭会長)

皆様、ようこそ「山の国」信州、岳都「松本」へお越しくございました。

皇太子殿下におかれましては、山の日誕生を記念する、第1回の全国大会に御臨席を賜りますことに心より感謝申し上げます。

本日は、山の日誕生を共にお祝いし、記念式典にお招きした皆様の懇親を深める場として、ささやかではありますが、御宴席を設けさせていただきました。

山岳県信州・岳都松本ならではの「山の恵み」をふんだんに取り入れた御飲物やお食事を御用意いたしましたので、時間の許す限りお楽しみいただき、山の歴史や文化の薫りに触れていただければ深甚でございます。

結びに、ホテルブエナビスタの重山総支配人様をはじめ関係者の皆様には、とても細やかな質の高い準備をしていただきましたことに重ねてお礼申し上げます、御臨席いただきました皆様には、どうか夏の夕餉をごゆっくりお楽しみいただきますよう祈念申し上げます、御挨拶といたします。

5 記録写真



会場風景 (乾杯)



ツキ板のランチョンマット



ツキ板の卓上サイン



会場風景 (ご歓談)

1-11 上高地バスターミナルでの記念式典の開催について

1 趣 旨

「山の日」の制定趣旨の一つ「山に親しむ機会を得る」ことを具現化する上高地の屋外特設会場での開催と、「山」の魅力・価値を国内外に向けて発信し、先人が育んできた歴史と文化を次代に継承する内容のプログラムにより、厳粛かつ品格のある式典として実施した。

2 日時及び場所

(1)日時 平成28年(2016年)8月11日(木)午前9時から10時45分

(2)場所 上高地バスターミナル駐車場特設会場

3 参加人数 約400名

皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王殿下、各国大使館関係者、国会議員、姉妹都市、行政機関、山の日制定功労者、地元(地域)関係者 等

4 概 要

(1)山行きの服装とニリンソウをかたどった飯田水引によるコサージュの着装

今大会では、「山の日」の制定趣旨である「山に親しむ機会を得る」ことを具現化するため、上高地バスターミナルでの屋外開催とするとともに、記念式典に御臨席ただいだいた皇太子同妃両殿下



並びに愛子内親王殿下をはじめ来賓、実行委員会構成員、スタッフ等の参加者全てが「山行き」の服装に身を包み、式典会場の演出に一体感を持たせた。

また、上高地の代表的な植物の一つである「ニリンソウ」をかたどったコサージュを着装し、会場全体にニリンソウが咲き誇る様子を演出した。このニリンソウには「友情」という花言葉があり、今大会のテーマである「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」



につながっている。なお、素材は飯田水引を採用し、信州を代表する伝統工芸品であり、「山」と深く結びつく「水」をイメージするとともに、「結」も山と人との関係を表現している。

(2) 招待者紹介・入場

「山に親しむ」ことを体現する式典として、招待者をはじめスタッフを含めた式典に関わる全ての人が山行きの服装で参加した。

また、各国大使館や海外姉妹都市からお越しいただいた皆様をご紹介しながらエスコートキッズ(開催地である上高地の麓の安曇・奈川・大野川小学校の児童たち)の先導でご登場いただき、記念式典は前日に開催した「山の日」制定記念国際フォーラムと合わせて、世界でも類を見ない「山を祝う」日をアピールし、その趣旨を世界に発信し共に分かち合う良い機会となった。



左上から右へ：

在日オーストラリア大使館 イチジク・エバンス様、オーストリア大使館 ヘルベルト・ピツヒラー様、中華人民共和国駐日本国大使館 範建民様、ドイツ連邦共和国大使館 マリオ・クレープス様、ドイツ連邦共和国大使館 フローリアン・イェーガー様、イタリア大使館 ジョバンニ・スコーパー様、在日本ネパール国大使館 クリシュナ・チャンドラ・アリアル様、在日スイス大使館 カロリーヌ・パウマン様、駐日英国大使館 グレッグ・マルハーン様、米国大使館 アロン・ゴールド様、グリンデルワルト観光局 ペーター・エッガー様、グリンデルワルト観光局 ブルーノ・ハウスヴィルト様

(3) 式典開幕「山鐘」^{さんしょう}

式典の開幕を告げる「山鐘」は、坪田副会長(副市長)と地元小学生が交互に8回鐘を撞くタイミングに合わせ、鐘の音に込められた思いが会場前方のスクリーンに映し出され、上高地の稜線まで鐘の音が響き渡り、一瞬の静寂に包まれた。

第1山鐘

山の日誕生を祝う思い

第2山鐘

山に親しむ機会を得ることへの思い

第3山鐘

山、その恩恵に感謝する思い

第4山鐘

山を慈しみ労わり活かす思い

第5山鐘

水や木など山の恵みを大切にする思い

第6山鐘

花や鳥、蝶など山に棲む生き物たちを大切にする思い

第7山鐘

山を愛する人への思い

第8山鐘

山で亡くなられた方々への思い



(4) プロローグ

【プロローグ映像】

「さあ「山」へ行こう」と「はじめまして「山の日」」の2本を上映し、上高地をはじめとする信州の山々の姿や文化・歴史に触れていただくとともに「山の日」の制定経過を振り返ることで、式典行事へ臨む意識を高めた。



映像「さあ山へ行こう」



映像「はじめまして「山の日」」

(5) 式典行事

【あいさつ及び国歌斉唱】

山本公一環境大臣による「山の日が国民の祝日として制定された意義を感じ、全ての国民が山に思いを寄せるきっかけになることを願う」趣旨の「「山の日」はじめの言葉」によって式典行事の始まりが告げられた。



山本環境大臣

続いて、国民の祝日「山の日」の誕生を祝い、セイジ・オザワ松本フェスティバルブラスアンサンブルの伴奏に合わせて、式典参加者により国歌が斉唱された。



会場一体の国歌斉唱

衛藤征士郎実行委員会顧問からは「山の日美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことを銘記する日であり、今こそ私たちは山への思いを一つにして、新たな時代へと踏み出す時を迎えている」旨の「山の日誕生あいさつ」があった。



衛藤顧問

菅谷昭実行委員会会長からは「山の日を山に謙虚に向き合い、山に向かって一步を踏み出す日としていただき、質の高い山岳高原観光都市・「岳都」の形成に努める」旨の「主催者あいさつ」があった。



菅谷会長

阿部守一実行委員会名誉会長からは「全ての山々は国民の貴重な財産であり、全国有数の山岳を抱える長野県も世界中の人々から愛される山岳県となるよう取り組んでいく」旨の「歓迎あいさつ」があった。



阿部名誉会長

【皇太子殿下 おことば】

皇太子同妃両殿下と愛子内親王殿下の皇太子御一家が式典に御臨席になり、皇太子殿下よりおことばを賜りました。

第1回「山の日」記念全国大会の記念式典に、皆さんと共に出席できることを大変うれしく思います。

「山の日」は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨に、平成26年に国民の祝日として制定されました。制定に尽力された多くの皆様に心から敬意を表します。

また、記念すべき第1回の全国大会が、山岳観光地として名高いここ長野県松本市上高地で開催されることは、山の日の制定の趣旨を表現するにふさわしく大変意義深いことと思います。

私も、昭和42年に両親とともにこの地を訪れ、穂高連峰の雄大な景色に魅了され、そこから流れ出る梓川の清流に心癒されたことがなつかしく思い出されます。

我が国は国土の約7割を山地が占めており、私たち日本人は古くから山に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝し、自然と共に生きてきました。

また、長野県では登山学習というすばらしい取組が脈々と受け継がれており、この大会のロゴマークも地元の子どもたちが制作にかかわったと聞きました。次代を担う子供たちに、山の素晴らしさや厳しさ、山の恩恵への感謝の気持ちなどをしっかりと引き継いでいくことが大切であり、「山の日」が明るく豊かな「山の未来」を創造する第一歩となることを願っております。

私自身、山に登り始めて50年程になりますが、山に登るたびに新しい発見や新たに学ぶことがあり、山の魅力は尽きることがありません。

このように山の日が誕生したことを機に、ここ上高地から山の恩恵を広く国内外に発信し、多くの方が山に親しみ山の恩恵に感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り次の世代に引き継いでいくことを心より願い、あいさつといたします。



【「山の日」制定記念音楽演奏】

開催地松本と縁の深い「セイジ・オザワ松本フェスティバルブラスアンサンブル」により、「山の日」制定を記念する演奏。「山の日」の誕生を祝うにふさわしく、朝の上高地に響き渡る爽やかで軽快な音色でした。



セイジ・オザワ松本フェスティバルブラスアンサンブルによる記念演奏

曲目：デュカス「ラ・ペリ」ファンファーレ

ヘンデル「王宮の花火の音楽」より「序曲」「歓喜」

【伝えたい「山への思い」】（映像メッセージ）

- C. W. ニコル さん 作家、環境保全活動家、探検家
- 油井 亀美也 さん 宇宙飛行士
- 小澤 征爾 さん 指揮者

「山への思い」がある
それは誰しもが胸に秘めているもの
山と関わる 山と繋がる 山と交わる
一人ひとり それぞれの思い

伝えたい「山への思い」



C. W. ニコルさん



油井 亀美也さん



小澤 征爾さん

〔山と生きる〕
母国英国の山を引き合いに、生い茂り多くの水を湛える森とそこに生きる生物など日本の山の豊かさを説き、“日本の人々が日本を「山の国」として心に留めて、山の日をきっかけにもっと山のことを皆で考えよう”と呼びかけられました。

〔山を望む〕
小さな頃に遊び学んだ長野県川上村の山を“とても大きな存在”、宇宙飛行士として宇宙から望んだ山は“美しく壊れやすい存在”であると感じ、将来にわたり自然を守ることの大切さをメッセージとして寄せられました。

〔山を奏でる〕
恩師である斉藤秀雄さんと仲間たちとの山での思い出や、30年前から続けている奥志賀高原での子供たちとの音楽活動に触れ、山の日が山に親しみ山を楽しむ日になってほしいとメッセージを寄せられました。

【総理大臣メッセージ】

本大会開催に当たり、安倍晋三内閣総理大臣からいただいたメッセージが読み上げられました。

きれいな水、澄んだ空気、美しい緑。山は、多くの恵みを私たちに与えてくれます。そして、時に山は、自然の厳しさも教えてくれます。故郷の山への愛着と畏敬の念を抱きながら、古来、私たち日本人は、山とともに暮らしてきました。

山はまた、近代スポーツである登山や気軽に自然を満喫できるハイキングの場としても、観光で訪れる方々を感嘆させる景勝地としても、多くの国民に親しまれてきました。国内だけではなく、近年、日本の山に魅せられて、我が国を訪れる海外の方も増えています。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」。国民の祝日「山の日」は、国民の皆さんにとって、山との関わり合いの中で築いてこられた日々の暮らしや地域の文化・伝統の大切さに改めて思いを致し、山との触れ合いをさらに深め、その未来を共に語り合う日となることでしよう。

「山の日」制定に尽力された皆様に心から敬意を表するとともに、政府としても、国内外に日本の山の多様な魅力を発信し、先人から受け継いできた国民全体の財産として、次世代にしっかりと引き継いでいく決意です。

平成28年8月11日
内閣総理大臣 安倍晋三

【「山と共に」未来への誓い】

衛藤征士郎実行委員会顧問と、地元安曇・奈川・大野川小中学校の児童・生徒代表による宣言の朗読が行われました。宣言は「山と人のつながりの証 ニリンソウ～花言葉「友情」～」、「序文」、「宣言」の3パートに分かれ、衛藤顧問の力強い朗読と子供たちの息の合った声で高らかに宣言されました。



衛藤顧問と地元小中学生による宣言

宣言！山と共に 未来への誓い

山は僕たち私たちの宝物。みんなここで生き、生かされています。きれいな山、自然や文化を守るために、山への恩返しとして、自分たちにできることから始めましょう！

人と山の未来はどうなるのでしょうか。「山の日」をきっかけにどうすれば山と人がよりよい友だちになれるか、考えましょう！

僕たち私たちは、子供、お年寄り、体の不自由な人、海外からのお客様もみんな憩い、親しみ、楽しめる山、健やかで豊かな暮らしの源である山を未来へつないでいきます！

【「山の日」結びの言葉】

松沢哲郎実行委員会副会長より、「山の日が深く人々に浸透し、自然を愛し山に親しむ心が次の世代に引き継がれることを祈念する」旨のあいさつとともに、記念式典の閉会が告げられました。



松沢実行委員会副会長

(5) エピローグ・終演

【山への第一歩】

セイジ・オザワ松本フェスティバルプラスアンサンブルによる「山に親しむ・山への第一歩」を表現する演奏をバックに皇太子殿下御一家の御退席をお見送りの後、式典のポイントの一つとなった「ニリンソウ」が山への想いとともに拡がっていくことを願う映像で式典は終演した。

曲目：ドヴォルザーク「家路」 交響曲第9番「新世界より」第2楽章

ロジャース「サウンド・オブミュージック」よりテーマ、ひとりぼっちの羊飼いの歌、エーデルワイス、ドレミの歌

5 記念品

(1) 趣旨

記念式典にご臨席頂いたご招待者に感謝の気持ちを込め、山の日の制定趣旨（山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する）に沿い、山の恵みである木材を使用した長野県の伝統工芸品を中心に記念品を贈った。

(2) 記念品概要

木製記念品	参考写真	概要
長野県伝統工芸 木曽漆器 とち椀		和の伝統技術と、洋の洗練されたデザインが融合した美しい椀です。持つ人の手に優しく馴染み、使い込むほどに味わいのある艶が生まれます。
長野県伝統工芸 木曽漆器 木曽ひのき 小判メンパ		木曽・奈良井宿に伝わるひのきの曲げわっぱです。非常に軽い材の木地に何度も漆を塗り重ね、丈夫に仕上げられています。傷んでも塗り直しができ、長く付き合える弁当箱です。
山の日時計		ひのき材を外枠に使用し、文字盤に大会ロゴマークをあしらった卓上時計です。可愛らしく実用的で、滑らかな木肌の温もりに心が和みます。
漆塗り マグネット		木目を生かしたひのきのつき板に、美しい漆塗りが施されたマグネットです。山にちなんだ深緑、紅葉を思わせる赤、摺漆の定番色である茶の3色がセットになっています。
その他 共通記念品 (協賛企業提供品等)		
飯田水引コサージュ (ニリンソウ)、クライマーズ・ブック、ナノタオル (㈱finetrack)、チキンラーメンとコッフェル (日清食品ホールディングス㈱)、山の酒 大雪渓 (日本酒) (大雪渓酒造㈱)、白樺の大地 (菓子) (㈱信州芽吹堂)、アミノバイタル GOLD ワンデーパック (味の素㈱)、バッグ (㈱モンベル)、トレーディングカード (林野庁)、携帯ライト、クリアファイル、ポストカード (環境省)、信州松本の水 (松本市上下水道局)、大会ロゴマークピンバッジ		